

平成27年度の年間の活動

1. みどりの便利帳 多治見市長への報告

緑の便利帳の完成と多治見市長への完成報告については昨年度報告しましたが、この取り組みが、平成27年3月5日付中日新聞にて写真入りで紹介されました。

緑ある環境を後世に残すために活用してほしいと願う気持ちを、広く伝えることが出来ました。

新聞掲載以降、他地区からみどりの便利帳の問合せも多数あり、近郊の公民館へも新刊の図書として紹介・展示していただきました。

2015年(平成27年)3月5日(木曜日)

緑の環境 後世に残そう

多治見市滝呂町の38区タウン滝呂自治会が、区内の各家庭で育てられている木々の管理方法をまとめた「みどりの便利帳」を作製した。関係者は「緑ある環境を後世に残すために活用してほしい」と願う。

(中川耕平)

木の管理まとめ「便利帳」作製

区内に生える樹木や植物計百一種類ごとに剪定期や特性、育てる上でポイントを写真付きで紹介する。初春の代表的な花のウメは「土質は多少砂利まじりくらいで」「病害虫は多い方で、早期の葉散が必要」と解説する。

新興住宅が集まる38区では、住民たちが率先して広場の清掃や公園の整備に当たってきた。活動が認められ二〇一二年には、「住まいのまちなみコンクール」(住宅生産振興財団主催)の優秀賞を受けた。

賞の副賞として、一三〇一五年の三年間で百五十万円の支援を受けた。支援金の活用を検討する中、正しい木々の手入れ

方法を知らなくてもいいから、年かけて植物を調べ、まとめたい。便利帳の作製を決め、とめた。

加藤さんと委員の松田前区長の加藤静作さん、久和さん(ふむ)が市役所を訪れ、古川雅典市長に完了し、自治会内の全戸に配られた。八百冊を発行した。加藤さん

は「木は大きくなり、枝が張るにつれて危険になる。便利帳を見て、手入れ法を見直してほしい」と話した。

便利帳はA4判で九十七ページ。冒頭で基本的な剪定の方法や、樹木がかかる主な病気、害虫が示されている。八百冊を發行



●みどりの便利帳を古川雅典市長に紹介する加藤静作さん(左)と松田久和さん(右) 多治見市役所で
●区内の101種類の植物の手入れ方法が紹介されている

2. 地域関連団体との連携強化

昨年度の報告書の中で課題とした地域関連団体との連携を今年度は実現しました。実施した取り組みは、多治見市が推進する「花いっぱい・花の里親運動」で、小学校の児童・中学校の生徒が種を播き育てた苗を、区民が里親となって自宅の玄関先、近くの公園等で花を育て、地域を花いっぱいにしてほしいという取り組みです。

多治見中学校、滝呂小学校、滝呂校区青少年まちづくり市民会議、38区自治会緑化委員会、TES町内会とまちなみ美化推進委員会が連携し、春（6月21日）と秋（11月15日）の2回実施し、パンジー、ビオラ、スノーポールなどの苗を植えたプランター約50個を、花の里親に持ち帰っていただきました。

苗は学校から無償支給いただき、土・肥料およびプランターは自治会・町内会の費用で対応いただきました。

自宅の玄関付近・公園に置かれたそれぞれのプランターの花は里親の皆さんによって大切に育てられ、住民の皆様に癒しを与えています。

この活動は次年度以降も継続する予定です。



3. 老人会によるポケットパーク清掃活動

今年度も、38区T E S町内会の9ヶ所のポケットパークの清掃を、老人会（百寿の会）のメンバーで月1回土曜日の午前中に行いました。

ポケットパークは、小学校の子供たちの登校時の集合場所、災害時の一時避難場所、子供たちの遊び場といった目的に使用されますが、整備の行き届いた公園は大変気持ちのいいものです。

また、清掃作業を通じた高齢者の交流の場として、大変に意味深い行事として定着しています。



4. 公園愛護会による公園及び周辺緑地愛護活動

今年度も、我が地域の3ヶ所の公園および緑地の整備活動を、滝呂台公園愛護会17人のメンバーで行いました。

活動は8月の暑い時期および雨天を除き、毎週木曜日の午前中約2時間行いました。この活動も今年で4年目を迎え、公園の整備は元より緑地内の遊歩道が甍り、美観のみならず、防犯面でも安全性が大きく改善でき、遊歩道を散歩する住民も増えました。

またこの遊歩道は多治見市のウォーキング100選にも認定されており、今年秋には老人会（百寿の会）の行事として「第1回ウォーキング大会」が開催されました。秋晴れにも恵まれ、多数の参加者が集まりました。



百寿の会ウォーキング

平成27年10月7日
百寿の会 会長 伊藤敏文

- 開催日: 平成27年10月21日(水) 11時30分～12時30分 雨天中止
- コース: TES集会所 → 滝呂北公園 → 冒険公園 → 花の丘公園
- 服装: スニーカー、長袖、長ズボン
- 持ち物: 水筒、ペットボトル



調査検討費の使途

- 緑の便利帳、植樹
- 機材等
- まちネット総会旅費
- 事務費

近い将来取り組まなければならない課題

1. 構成メンバーの高齢化と人数減

まちなみ美化推進活動の中心組織である老人会<百寿の会>、ボランティア<滝呂台公園愛護会>の構成メンバーの高齢化と人数の減少阻止対策が、今後の課題であります。

その対策として、これまでの活動内容、その効果などを積極的にPRすると共に、定年リタイアメンバーへの老人会、ボランティア活動への新規加入勧誘を進めていく所存です。

2. まちなみ美化推進委員会の今後の運営

今年度は、調査検討費が終了したことにより、まちなみ美化推進委員会は発展的解消し、自治会緑化委員会を中心とする組織に改編し活動を進めます。

■従来の組織(～H27年3月)

